

労働者健康安全機構 山陰労災病院を受診された患者さんへ

研究課題名：インフォームド・コンセントに関する診療記録の調査と適正化への取り組み

当院では上記の研究を行っています。本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報などを研究目的に利用または提供することを希望されない場合には、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

1. 研究責任者

山陰労災病院 診療情報管理士 角田 恭子（川崎医療福祉大学大学院 角田 恭子）

2. 研究の目的

「インフォームド・コンセント」とは主に医療者側から医療を受ける側へ十分な説明をおこない、同意の上で検査・治療方法を選択していただくということです。

医療者側の説明に基づき、医療を受ける側の患者・ご家族の方が自己の病状について十分に理解し診療・看護等に協力すること(パートナーシップ)は、相互の信頼関係に立脚した適切な医療の遂行と治療効果の達成のために重要です。

当病院のインフォームド・コンセントの現状の把握と傾向の分析から、よりよいインフォームド・コンセントの実施へつなげることを目的としています。

3. 研究の方法

当院の電子カルテシステムから調査します。調査対象期間は、平成29年2月1日から平成31年2月28日です。収集する情報はDPC、インフォームド・コンセントの記録、看護記録(看護計画)などです。

4. 研究の対象者

平成29年2月1日から平成31年2月28日までの退院患者。

5. 個人情報の取り扱い

本研究で取り扱う診療情報は、個人情報をすべて削除し、第三者には判らないデータとして使用します。収集データは研究責任者が研究終了まで厳重に保管し、研究終了時に完全に削除します。

本研究の実施にあたっては、山陰労災病院倫理審査委員会に申請をおこない承認されています。

6. 問い合わせ先

TEL：0859-33-8181 山陰労災病院 診療情報管理士 角田 恭子